

## 地对協コーナー

### 会長就任ご挨拶

この度、広島県地域保健対策協議会(略称・地对協)の会長に就任いたしました。構成団体の皆さまおよび地区地对協の皆さまには平素より多大なるご協力とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

地对協は昭和44年に、県内における医療および公衆衛生に関することがらを総合的に調査協議し、県民の健康の保持増進に寄与することを目的として設立されました。設立当初は広島県、広島大学、広島県医師会の3者構成でしたが、平成6年に広島市が加わり、4者構成となりました。まさに「官学民」の草分けで、国内でもあまり類を見ない組織です。その後、時代に即応して組織改革を繰り返し、あくまでも「県民のいのちと健康を守る」という公益性を念頭に置いた県内唯一の包括医療の推進母体として活動しており、多大な成果を上げています。現在広島県が抱えております、医師不足・地域偏在、在宅医療・介護の在り方、大規模災害への対策、そしてなんと申しましても新型コロナウイルス感染症の拡大など、多くの課題につきまして、それぞれの専門家が分野を超えて一致協力し、地对協として課題解決に向け使命感を持って取り組んでいるところです。

さて、新型コロナウイルスの国内での感染が確認されて6ヶ月が経過いたしました。一度収まったかに見えた感染拡大ですが、今また、第2波と思われるほどの爆発的な感染拡大が起こっています。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和元年度の地对協定例理事会は3月に書面審議として開催されました。今後もWeb会議などで協議していただくことになろうかと思われまます。今年度は、第7次広島県保健医療計画の中間見直し年度にあたりますが、新型コロナウイルス感染症の発生により、県内の保健医療体制も再検討すべきであると考えまます。地对協の16委員会8WGで、今後の県民の皆さまの保健・医療・福祉を総合的に調査・研究・協議し、連携して広島県の保健医療施策に反映させてまいります。

引き続き、県民の皆さまが安心して暮らせるよう、そしていのちと健康を守るために、皆さま方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月

広島県地域保健対策協議会  
会長 松 村 誠

